

添えて報道されたものでした。また愛国婦人会々長（李家隆介長崎県知事夫人）、それから出征部隊の司令官である第二十三旅団長堀内文治郎中将などからまで弔詞や香典などいただいたのでした。知事さんの奥さんは、中根式速記協会の顧問をしていただいた李家 孝さん（日本商工会議所副会頭、横浜商工会議所会頭などなされた人）のお母さんです。

私の本籍地は長崎県島原市古丁二二六一番地ですが、残念ながらそこは今は家もなくなっています。祖先是島原土着の人ではなく、愛知県岡崎の松平様が分家して島原に来られたとき付いて来た侍だったことです。私の家には祖先が使った火縄銃や槍、刀、弓、矢などいろいろありましたが、今は何も残っていないのは惜しいことと思っています。

父正秀の父は中根正房という人でした。祖父は岡野権十郎正房という人でしたが、岡野家から中根家に養子に来て中根姓にかわっていました。岡野家の次男に生まれた人で大変な学者だったそうです。廃藩置県後はいわゆる昔の読み書きソロバンなどを教えていたそうです。私の母の弟の太田納太郎叔父さんの妻、太田ミヤ叔母さんなどが習いにいっていたとのことでした。

正房の兄にあたる人（岡野家の長男）は岡野唯八郎正孝という人で、島原第一の数学者、天文学者だったそうです。星を数えて天文を見たり、また易などもやっていたそうです。その弟子の多田吉人という人